

J E N E S Y S 2 . 0**長野県高校生訪韓研修団****訪問日程 平成 25 年 11 月 17 日 (日) ~11 月 23 日 (土)****1. プログラム概要**

JENESYS2.0の一環として、11月17日から11月23日までの6泊7日、長野県の高中生ら50名による訪韓研修を実施しました(団長:三浦章 長野県教育委員会教学指導課高校教育指導係長)。一行は韓国的高等学校訪問や文化体験・視察のほか、日系企業の訪問などを通じて、韓国の文化・社会に対する理解を深めました。

2. 日程**11月17日(日)**

長野県出発、羽田空港発、金浦国際空港着

11月18日(月)

オドゥサン統一展望台見学、企業訪問(Epson Korea)、韓国国立国際教育院訪問

11月19日(火)

体験学習(韓国伝統衣装・礼儀作法、テコンドー)、韓国民俗村、水原華城見学(現地、梅香女子情報高等学校生徒との合同見学・夕食交流会)

11月20日(水)

企業訪問(TAKATA KOREA)、キムチ作り体験(工場見学)、在大韓民国日本国大使館訪問

11月21日(木)

眞乾高等学校訪問、ホームステイ対面式

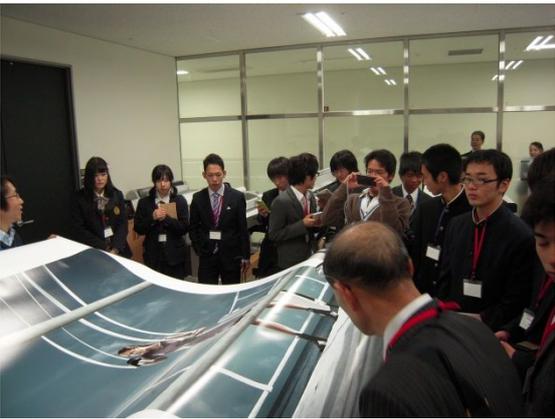
11月22日(金)

ホームステイ終了、サムルノリ(チャンゴ)体験、景福宮見学、ショッピングセンター視察

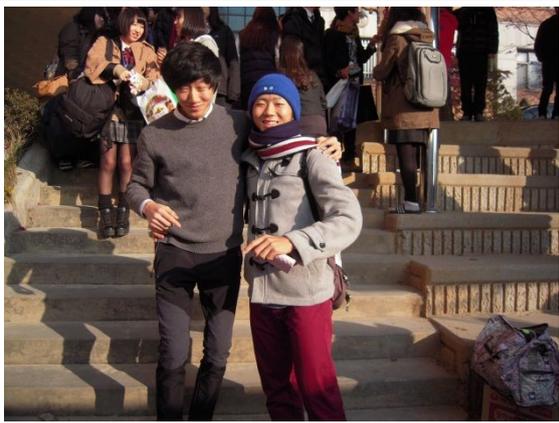
11月23日(土)

金浦国際空港発、羽田空港着、長野県帰着

3. 写真

	
(日本語) 11月18日 企業訪問 Epson Korea (ソウル市)	(日本語) 11月19日 文化体験 テコンドー (ソウル市)
(母国語) 11월 18일 기업방문 Epson Korea(서울시)	(母国語) 11월 19일 문화체험 태권도체험 (서울시)
	
(日本語) 11月19日 文化体験 韓服 (ソウル市)	(日本語) 11月19日 梅香女子情報高等学校との交流 (水原市)
(母国語) 11월 19일 문화체험 한복체험 (서울시)	(母国語) 11월 19일 매향여자정보고등학교 학생들과의 교류(경기도 수원시)

	
<p>(日本語) 11月20日 企業訪問 TAKATA KOREA (華城市)</p>	<p>(日本語) 11月20日 在韓国日本国大使館訪問 (ソウル市)</p>
<p>(母国語) 11월 20일 기업방문 TAKATA KOREA (화성시)</p>	<p>(母国語) 11월 20일 주한 일본국대사관 방문 (서울시)</p>
	
<p>(日本語) 11月21日 眞乾高等学校訪問 授業体験 (京畿道南楊州市)</p>	<p>(日本語) 11月21日 眞乾高等学校訪問 給食体験 (京畿道南楊州市)</p>
<p>(母国語) 11월 21일 진건고등학교 방문 수업체험(경기도 남양주시)</p>	<p>(母国語) 11월 21일 진건고등학교 방문 급식체험(경기도 남양주시)</p>

	
(日本語) 11月21日 眞乾高等学校訪問 長野県側の発表(京畿道南楊州市)	(日本語) 11月22日 眞乾高等学校訪問 ホストファミリー(京畿道南楊州市)
(母国語) 11월 21일 진건고등학교 방문 나가노현측 발표(경기도 남양주시)	(母国語) 11월 22일 진건고등학교 방문 호스트 패밀리과(경기도 남양주시)

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○ホームステイに関して

- ・ 韓国の大人と交流するのは初めてだったので最初は緊張したが、温かく迎えてくれてとても楽しく過ごせた。
- ・ ホストが親切だったのが最高によかった。
- ・ また同じホスト先にホームステイしたい。
- ・ ホームステイの時間が短すぎたと感じるほどだった。
- ・ ホストのパートナーと率直に話げできたこと。
- ・ お母さんが寒がりの私に帽子と手袋を買ってくれたことがうれしかった。
- ・ ホームステイ先のキムチがおいしかったこと。
- ・ ホストファミリーと市場に行ったこと。

○韓国人学生との交流に関して

- ・ 学生たちが、持っていた先入観と違って友好的で明るい人々だったこと。
- ・ 韓国人学生の明るさ、パワフルさが伝染して自分までもいつもより明るくなれ、時間が経つのを忘れられたこと。
- ・ 水原を案内してくれた学生と打ち解けられ、今後も連絡を取り続けたい。

○伝統、文化に関して

- ・ テコンドーの体験(空手と似ていて親しみやすかった)。
- ・ 伝統文化だけでなく、現代の日常的な文化に、直に触れられたことが印象的。

- ・チマチョゴリが日本の着物より軽くて着やすく、色などで身分などが分かっていると知れたこと。

○人間性について

- ・謙虚な日本の文化は好きだが、言いたいことをはっきり言う韓国の文化も、好きだと思った。
- ・交流した学生たちが全員明るくて積極的だった。
- ・みんな、親切で優しくかったこと。
- ・見た目は似ているが実際には日本とは違う国だと感じた。日本よりずっと明るいと感じた。
- ・思ったよりずっと柔軟な人たちだった。
- ・韓国について知ることができたこと。

○その他

- ・日韓関係は、現在よくないと取りざたされているが、実際にはとても歓迎してくれたこと。
- ・韓国人が自国の産業や文化に誇りを持っており、訪れた場所のほとんどの電化製品と車が韓国製だったことに驚いた。
- ・企業見学では各企業のことが詳しく知れてよかった。
- ・統一展望台に行って、かつて一つの国だった韓国と北朝鮮の国境を目の当たりにし、悲しい現実を知ったこと。
- ・単語やジェスチャーだけでなんとかなるものだと分かり、「言葉の壁」というものの低さを感じた。
- ・韓国にいる間、一切いやな気分にならずに過ごせたこと。
- ・自分がこの研修メンバーとして韓国に来られたことがとてもありがたいことなのだ、と実感し、そのことが印象に残った。
- ・訪問した先の在韓日本企業、大使館、ツアースタッフなどの大人たちの中に自分と同じ地元が出身の方が多数いた。自分の住む地域から世界で活躍されている方の姿を見ることができたこと。
- ・食事がすべておいしかったこと。
- ・バスの料金支払いなどを見て、韓国は本当にIT化が進んでいるなあと感じたこと。
- ・人は言葉が通じなくても仲良くなれることを実感したこと。
- ・普通の訪問では決していけないであろう、大使館や教育院の訪問。
- ・韓国で誕生日を迎え、そのうえ初雪を経験したこと。
- ・独学で韓国語を学習した成果が試せたこと。
- ・研修を通して、日本の良さを再認識できた（精神的な成熟性）。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・研修を通して知った韓国のことを友人たちに伝えたい。
- ・メディアだけの情報にとらわれずに自分の目で本当の韓国を知り、帰国したらよいところを伝えたい。
- ・研修の中で外交官の方から聞いたことや、韓国人学生が日本のことをよく知っていて驚いたことなどの体験を友人たちに伝えたい。
- ・韓国は恐ろしいところという先入観を持っている人の誤解を解きたい。

- ・ 韓国人たちの考え方や文化を発信していきたい。
- ・ 本当の韓国の姿を発信していきたい。
- ・ 日韓関係がよくなるような正しい知識を伝えたい。